

1. 授業科目の構成

授業科目の内容は以下のように構成されています。

- (1) 英語科目
 - └── 必修科目 (英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅲ、英語Ⅳ、TOEIC対策講座Ⅰ、TOEIC対策講座Ⅱ)
 - └── 選択必修科目
 - └── 選択科目 (英語ファンダメンタルズ)
- (2) 教養科目
 - └── 必修科目 (人間学Ⅰ)
 - └── 選択科目
- (3) 基礎科目
 - ── 選択科目
- (4) 専門科目
 - └── 必修科目 (基礎ゼミナール、プレ・ゼミナール、ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ)
 - └── 選択科目

必修科目 …… 必ず履修しなければならない科目

選択必修科目 …… 指定された科目の中から選択して、所定の単位を必ず履修しなければならない科目

選択科目 …… 自由に選択して履修できる科目

2. 卒業に要する科目、単位数の最低基準

卒業要件は次のとおりです <学則第40条>

- ① 修業年限 (2年) を満たすこと。
- ② 卒業に必要な所定の単位 (卒業要件単位) 66単位以上を修得すること。

【卒業要件単位数】

分野	英語科目		教養科目		基礎/専門科目		合計
	必修	選択必修	必修	選択	必修	選択	
単位数	10	6	2	12	8	28	66
合計	16		14		36		

3. 標準配当表

区分		1年次・春学期 第1 Semester (準備期)		1年次・秋学期 第2 Semester (発展期)		2年次・春学期 第3 Semester (応用期)		2年次・秋学期 第4 Semester (完成期)	
英語科目	必修 (10単位)	英語Ⅰ TOEIC対策講座Ⅰ	2 1	英語Ⅱ TOEIC対策講座Ⅱ	2 1	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
	選択必修 (6単位)	英語スキルズ	2	英語スキルズ	2	英語スキルズ	2		
教養科目	必修 (2単位)	人間学Ⅰ	2						
	選択 (12単位)	選択科目 (12)							
基礎/専門科目	必修 (8単位)	基礎ゼミナール	2	プレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
	選択 (28単位)	選択科目 (28)							

4. 履修上の注意

(1) 履修登録の上限

履修できる単位数の上限は1学期につき**24単位**です。

(2) 同一科目の重複履修

同一の授業科目は重複して履修することはできません。担当者が異なる場合であっても科目名が同じであれば、同一科目とみなされます。ただし、履修した科目が不合格で単位を修得できなかった場合は、再度履修することができます。

(例)「基礎英語スキルズ(リーディング)」の授業は春学期と秋学期とで異なる担当者 → 同じ科目名のため同一科目 → 春学期に単位を修得できた場合、秋学期では履修できません。

(3) 人数制限科目

人数制限科目とは、履修可能な人数が定められている科目のことです。開講科目表の備考欄に【〇〇名】という形で定員数が記載されています。

人数制限科目の履修希望者は、各学期の人数制限科目登録期間にLoyolaにてエントリーする必要があります。

なお、抽選はコンピュータにより行われ、当選した場合のみ自動的に履修登録されます。人数制限科目に当選した場合、当選した科目を削除することはできません。ただし、必修科目を除き履修中止期間に履修を中止することができます。

(4) 必修科目のクラス指定、ゼミナール

必修科目は指定されたクラスを履修してください。1年次秋学期必修の「プレ・ゼミナール」、および2年次必修の「ゼミナールⅠ・Ⅱ」の選択については1年次中に始まりますので、掲示等を確認してください。

(5) TOEIC対策講座Ⅰ・Ⅱ

「TOEIC対策講座Ⅰ・Ⅱ」(各1単位)は1年次必修科目です。この科目の履修者は、春学期末(7月)および秋学期末(1月)に学内で行われるTOEIC-IP試験を受けることが、単位修得の要件です。

※技能審査(TOEIC-IP)による単位認定(P.43)も参照

(6) 英語スキルズ科目

各学期あたり1科目のみ履修可能です。レベルは基礎、標準、準上級、上級に分かれているので、自分のレベルに合う科目を履修してください。

基礎 ……TOEIC L&Rのスコアが300点以下を目安とします。

標準 ……TOEIC L&Rのスコアが300~500点程度を目安とします。

準上級 ……TOEIC L&Rのスコアが400点以上を目安とします。

上級 ……TOEIC L&Rのスコアが500点以上を目安とします。

※技能審査(英検、TOEIC等)による単位認定(P.43)も参照

(7) 英語ファンダメンタルズ

「英語ファンダメンタルズ」は、本学の教育課程において、効果的に学修を進めるために必要な英語力を十分に身につけていない学生を対象に、学修支援を行うことを目的とし設けられています。この科目の開講趣旨に基づき、1年次春学期の必修科目の「英語Ⅰ」(シラバスの特記事項にその旨記載されているクラスのみ)で学期末評価がFとなった学生は、全員この科目の履修および「P」の評価を受けることが義務付けられます。ただしこの科目による単位付与はありません。詳細はシラバスを参照してください。

(8) 人間学

Nampet講師担当の「人間学Ⅰ」「人間学Ⅱ」を履修する場合は、TOEIC L&R 400点以上取得している必要があります。履修希望者は、申請書(所定用紙)を修正登録最終日までに事務センターへ提出してください。登録は事務センターが行います。

- (9) 教養科目の「体育理論（ウエルネスと身体）」、「体育（球技1）」、「体育（球技2）」は卒業要件単位として4単位まで算入されます。ただし、同一科目の重複履修はできません。
(例) 春学期に「体育（球技1）」の単位を修得済の場合、秋学期の「体育（球技1）」は履修できません（体育理論（ウエルネスと身体）、体育（球技2）は履修可能）。
- (10) 外国語科目
基礎科目の「ドイツ語」「フランス語」「スペイン語」「中国語」は卒業要件単位として4単位まで算入されます。同一言語を4単位、または異なる言語をそれぞれ2単位ずつ4単位とすることができます。
- (11) 他の科目の履修が前提となる科目
- ・児童英語教育演習A、児童英語教育演習B……履修するには、児童英語教育概説、児童英語指導者養成講座、第二言語習得のいずれかの単位を修得済であることが必要です。
 - ・各外国語科目Ⅱ……履修するには、各外国語科目Ⅰの単位を修得済である、もしくはそれに相当する知識が必要です。
- 各外国語科目Ⅱの履修を希望する者で、本学で開講されている当該言語の外国語科目Ⅰを単位修得していない者は、以下の①～④の要件のうちいずれか一つを満たしている必要があります。
- ①他の大学等において当該言語の初級レベル相当の科目を単位修得している。
【在籍していた大学が発行する成績表等の提出】
 - ②当該言語の外部検定試験において初級に相当する級やレベルを修得している。
【試験結果や合格証等の提出】
 - ③当該言語に関して、初級レベル相当の語学プログラム（国内及び海外）等の過程を終了している。
【プログラム終了証等の提出】
 - ④当該言語が話されている国・地域で半年以上生活しながら、現地校で教育を受けたことがある（渡航年齢が学童期前の場合は対象外）
【滞在や在学を証明する書類等の提出】
- 上記①～④のいずれにも該当しないが、各外国語科目Ⅱの履修をするに足る能力を有すると考える者は別途、教務専門委員長と相談をし、履修登録の許可を得る必要があります。
- また以下のいずれかに該当する者は各外国語科目Ⅱの履修ができません。
- ①当該言語の母語話者である。
 - ②他の大学等において当該言語の中級レベル相当以上の科目を単位修得している。
 - ③当該言語の外部検定試験において中級に相当する級やレベルを取得している。
 - ④当該言語に関して、中級レベル相当の語学プログラム（国内及び海外）等の過程を終了している。
 - ⑤当該言語の能力が日常会話ができるレベルに達している。
- (12) 専門科目「サービスマーケティング（小中学校日本語支援A/B）」「サービスマーケティング（地域日本語支援A/B）」について
- ・実習を伴う科目であることから、これらの科目は運用上、受講者を25名までとします。
 - ・履修者は初回授業の参加者から優先的に決定します。担当教員からの受講者報告に基づいて、履修登録は事務センターが行います。
 - ・履修希望者が25名を超える場合、初回授業のグループワークや提出書類から受講者を選考します。希望者は、必ず初回授業に出席するように注意してください。選考が行われる場合は、2回目の授業までに受講者をLoyolaで発表します。
 - ・成績評価は「P（合格）」「X（不合格）」のいずれかでいきます。「P」の場合のみ3単位が付与されます。
 - ・責任をもって地域活動に参加することを求めますので、やむをえない場合を除いて、原則として履修中止は行わないようにしてください。
 - ・地域日本語支援活動に関しては、「サービスマーケティング（地域日本語支援A/B）」の授業の履修登録をせずに、ボランティア活動に参加することは可能です。ただし、その場合は「サービスマーケティング入門講座」を履修する必要があります。
- (13) 履修希望者が極めて少数の場合、開講を中止する場合があります。
- (14) インデペンデント・スタディ
既設の科目で扱われている内容をより深く理解するため、あるいは学生自身が興味を持ってい

るテーマを選び自ら学ぶため、学生が主体的に指導教員のもとで研究し、研究報告書として成果をまとめ、評価を受けることにより、専門科目として2単位を付与する制度です。

登録を希望する学生は自分の研究テーマに相応しい指導教員（専任教員に限る）を選び、登録前に承諾を受けます。登録は在学中に1回限りとします。研究テーマについては、登録する学期の前の学期中に教員と相談することが望まれます。なお、各学期につき一人の教員が指導する学生は原則2名以内です。

<登録までの手続>

- ① 登録を希望する学期までに研究テーマを決め、指導教員を決定します。
- ② 「研究計画書」を作成し、指導教員へ提出します。指導教員は教務専門委員長、科長とともにその計画書を審査します。
*研究テーマは指導教員と相談の上決定します。
- ③ 指導教員と教務専門委員長及び科長の許可を受けた上で、春学期あるいは秋学期の履修登録期間に登録を行います。

<履修～評価>

- ① 学生は登録した学期の期間中、定期的に担当教員に対し進捗状況を報告し、指導をうけてください。
- ② 学生は登録した学期末までに「研究報告書」を担当教員に提出してください。最終的な研究報告書は十分な研究調査に基づいた論文の体裁をとっている必要があります。各学期末（春学期登録者は7月、秋学期登録者は1月）に開催される「公開研究発表会」で研究成果を教員・学生の前で発表した上で、評価されます。
- ③ 履修を中止する場合は、登録した学期の履修中止期間内に行ってください。

(15) 3大学合同ペルースタディツアー

上智大学、南山大学、上智大学短期大学部の3大学合同で開講されるプログラムです。本学が秦野市で実施する日系コミュニティでの学習支援活動と関連付けて、国内3大学の学生をペルーへ派遣し、日系人の出身国を訪問し、中南米やペルーの社会や文化を学ぶと共に、現地日系人コミュニティへの訪問等を通じて、文化背景を異にする人々が共に生きるために必要な多様な視野の獲得と、国際理解の促進を目指します。

事前事後学修および現地での研修を修了し、所定の成果を修めた場合、専門科目として2単位が付与されます。成績評価は「P（合格）」、「X（不合格）」のいずれかで、「P」の場合のみ2単位が付与されます。

単位が付与されるためには、原則として次の3つの条件をすべて満たしていなければなりません。

- ① 本学で実施される事前・事後指導に全て出席すること
- ② 海外で実施される講座に参加して所定の成果を修めること
- ③ その他、本学担当教員から指示のあった課題を提出すること

2019年度の前定プログラムは次のとおりです。変更になる場合もあります。その場合はスタディツアーガイダンス及びLoyola等によりお知らせします。

<3大学合同ペルースタディツアー「往還する南米日系人」>

主な研修先 教皇庁立ペルー・カトリック大学、マチュピチュ村 他

実施時期	2020年2月、3月（事前講義を2019年12月及び2020年1月に実施予定） 現地研修のほか、事前・事後指導を実施
申込時期	2019年10月（予定） 書類、面接審査により、参加者を決定します。

5. ナンバリングについて

ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序を表し、教育課程の体系的性を明示する仕組みです。

ナンバリング基本方針

↓ 科目の分野を表す（任意のアルファベット3文字）

AAA 1 1 1

↑ 100の位で科目のレベルを表す

科目レベルは以下の通りです。

100番台	初年次教育科目
200番台	学問の基礎的な概念や考え方を理解する科目、もしくは専門教育の基盤となる科目
300番台	専門教育の理解を深める科目、もしくは建学の精神を踏まえ実践する科目

アルファベットによる分野表記と分野名

分野別	分野名
ANT	Anthropology
ART	Art
BUS	Business Management
CHN	Chinese
COM	Computer Studies
ECN	Economics
EDU	Education
ENG	English
FRN	French
GCR	Coexistence and world-Humanrights and peace
GMN	German
HST	History
IDS	Interdisciplinary Studies
INT	International Studies
JPN	Japanese
JRN	Journalism
LAW	Law

分野別	分野名
LIT	Literature
LNG	Linguistics
MTH	Mathematics
MUS	Music
PED	Physical Education
PHL	Philosophy
POL	Political Science
PSY	Psychology
REL	Religious Studies
SCH	Studies in Christian Humanism
SEF	Special Education Fundamentals
SES	Special Education Seminar
SLE	Service Learning Education
SOC	Sociology
SPN	Spanish
SWF	Social Welfare

6. コース制度（18年次生以前のみ）

専門科目は「異文化理解」「英米文学研究」「言語研究」「言語教育」の4つの領域に分類されています。ある領域を集中してコースとして学ぶことも可能ですし、それぞれの領域から自由に科目を選択して履修することも可能です。

それぞれのコースの基礎科目（異文化理解：キリスト教文化入門または異文化間コミュニケーション、英米文学研究：英文学概論、言語研究：言語学概論、言語教育：児童英語教育概説または日本語教育概論）4単位＋そのコースの関連科目を16単位以上、合計20単位以上修得した場合は、申請に基づき「コース修了証」を発行し、修了コース名を成績証明書に記載します。希望者は、2年次の秋学期の修正登録期間終了までに申請を行います（所定用紙）。

（注）2つのコースどちらにでも算入できる科目を修得した場合、それぞれのコースの修了科目として含めることができます。2コース分の修了証が申請可能な場合は、申請書を2枚提出してください。

<各コースの概要>

異文化理解コース	英米文学研究コース	言語研究コース	言語教育コース
さまざまな国の文化や社会、歴史、考え方などについて学びます。	英語圏の文学を通してさまざまな表現手法や思想について学びます。	ことばの仕組みや使い方、バリエーションなどについて学びます。	子どもたちへの英語の教え方や外国籍の方への日本語の教え方を、理論と実践の両面から学びます。

*以下に各年次生の各セメスターでの履修例を示します。あくまでも一例ですので、自己の目的や興味関心に従って個人の学修計画を立ててください。なお、開講学期や時間割は年度によって変わります。

<異文化理解コース(例)>

1年次・春学期 第1セメスター		1年次・秋学期 第2セメスター		2年次・春学期 第3セメスター		2年次・秋学期 第4セメスター	
基礎ゼミナール	2	ブレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
人間学Ⅰ	2	英語Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語Ⅰ	2	TOEIC対策講座Ⅱ	1	英語スキルズ	2	言語とリテラシー教育	4
TOEIC対策講座Ⅰ	1	英語スキルズ	2	国際関係論	4	文化人類学	4
英語スキルズ	2	教育学	4	英米史	4	比較社会史	4
経済学	4	マスメディア論	4	異文化間コミュニケーション	4	平和と開発	4
基礎コンピューター演習	2	中国語Ⅰ	2				
合計 15 単位		合計 17 単位		合計 18 単位		合計 20 単位	
英語	5	英語	5	英語	4	英語	2
教養	8	教養	8	基礎/専門	14	基礎/専門	18
基礎/専門	2	基礎/専門	4				

2年間 計70単位

<英米文学研究コース(例)>

1年次・春学期 第1セメスター		1年次・秋学期 第2セメスター		2年次・春学期 第3セメスター		2年次・秋学期 第4セメスター	
基礎ゼミナール	2	ブレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
人間学Ⅰ	2	英語Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語Ⅰ	2	TOEIC対策講座Ⅱ	1	英語スキルズ	2	体育(球技1)	2
TOEIC対策講座Ⅰ	1	英語スキルズ	2	体育理論(ウエルネスと身体)	2	英語史	4
英語スキルズ	2	基礎コンピューター演習	2	フランス語Ⅰ	2	英詩研究	4
宗教学	4	哲学	4	日本語表現法	4	映画と文学	4
歴史学	4	英文学概論	4	イギリスの文化と文学	4		
合計 17 単位		合計 17 単位		合計 18 単位		合計 18 単位	
英語	5	英語	5	英語	4	英語	2
教養	10	教養	6	教養	2	教養	2
基礎/専門	2	基礎/専門	6	基礎/専門	12	基礎/専門	14

2年間 計70単位

<言語研究コース(例)>

1年次・春学期 第1セメスター		1年次・秋学期 第2セメスター		2年次・春学期 第3セメスター		2年次・秋学期 第4セメスター	
基礎ゼミナール	2	ブレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
人間学Ⅰ	2	英語Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語Ⅰ	2	TOEIC対策講座Ⅱ	1	英語スキルズ	2	マスメディア論	4
TOEIC対策講座Ⅰ	1	英語スキルズ	2	異文化間コミュニケーション	4	第二言語習得	4
英語スキルズ	2	教育学	4	英語史	4	言語とリテラシー教育	4
心理学	4	言語学概論	4	社会言語学	4	語用論	4
体育理論(ウエルネスと身体)	2	留学準備(オーストラリア)	1				
合計 15 単位		合計 16 単位		合計 18 単位		合計 20 単位	
英語	5	英語	5	英語	4	英語	2
教養	8	教養	4	基礎/専門	14	教養	4
基礎/専門	2	基礎/専門	7			基礎/専門	14

2年間 計69単位

<言語教育コース(例)>

1年次・春学期 第1セメスター		1年次・秋学期 第2セメスター		2年次・春学期 第3セメスター		2年次・秋学期 第4セメスター	
基礎ゼミナール	2	ブレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
人間学Ⅰ	2	英語Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語Ⅰ	2	TOEIC対策講座Ⅱ	1	英語スキルズ	2	発達心理学	4
TOEIC対策講座Ⅰ	1	英語スキルズ	2	教育学	4	第二言語習得	4
英語スキルズ	2	哲学	4	児童英語教育演習A	4	児童英語教育演習B	4
体育(球技1)	2	社会福祉入門	4	比較・国際教育学	4	初等教育	4
児童英語教育概説	4	ドイツ語Ⅰ	2	サービスマーケティング入門講座	1		
合計 15 単位		合計 17 単位		合計 19 単位		合計 20 単位	
英語	5	英語	5	英語	4	英語	2
教養	4	教養	8	教養	4	基礎/専門	18
基礎/専門	6	基礎/専門	4	基礎/専門	11		

2年間 計71単位

7. 英語科卒業認定・学位授与の方針及び学修成果獲得の観点

英語科ディプロマポリシーで定める5つの資質・能力について、1－5の番号で表しています。また具体的な学修成果獲得の観点について、1-①から5-③までの数字によって関連する科目として表しています。

1	【キリスト教ヒューマンイズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます】 【Following the spirit of Christian humanism and working with others, students acquire abilities to achieve personal development】 キリスト教ヒューマンイズムの精神を、キリスト教倫理や哲学において理解し、そこで獲得した視座に基づき人間及び社会的現象を考察できます。そして、その精神の根底に在る人間の尊厳への敬意、他者愛、献身の心を深く理解するとともに、他者とのかかわりの中で自己形成を行い、人間関係、共同体を構築する力を備えます。 Students can understand the spirit of Christian humanism through their learning in Christian ethics and philosophy and, from such perspectives, can explore questions regarding humanity and society. They develop a deep understanding of respect for human dignity, love of others, and the spirit of devotion—qualities that underlie the spirit of Christian humanism—and they acquire capabilities necessary to build human relationships and communities, as they achieve personal development working with other individuals.	
	関連科目	主な学修成果獲得の観点
1-①	「人間学Ⅰ」「人間学Ⅱ」「哲学」 「女性と哲学」「宗教学」 「キリスト教文化入門」「倫理学」	【知識・理解】 キリスト教思想・倫理、哲学、女性学、文化 【思考・判断】 課題発見・分析力、論理的・批判的思考力 【技能・表現】 ノートテイキング、文献読解、論文作成力 【態度・志向性】 自己形成力（「人間学Ⅰ」「人間学Ⅱ」） 【協働・共生】 他者との協働力（「人間学Ⅰ」）
2	【学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます】 【Students can acquire academic skills essential to scholarly learning and acquire broad knowledge in general education】 大学での学びに必要な読解力、論理的文章構成力、発表力を身につけます。同時に人文・社会科学を中心とする幅広い教養を修得し、人間と社会にかかわる多様な事象を理解し、意見を発信する力を身につけます。 Students acquire skills in reading, logical writing, and oral presentation that are essential to college-level learning. Also, they acquire broad knowledge in general education, focusing on the humanities and social sciences; understand diverse questions regarding humanity and society; and develop abilities to express themselves.	
	関連科目	主な学修成果獲得の観点
2-①	「人間学Ⅰ」「人間学Ⅱ」「歴史学」「哲学」 「女性と哲学」「宗教学」「音楽」「社会学」 「日本国憲法」「法学」「教育学」「経済学」 「経営学」「社会福祉入門」「マスメディア論」 「心理学」「数学」	【知識・理解】 人文学、社会科学、芸術、科学 【思考・判断】 課題発見・分析力、論理的・批判的思考力 【技能・表現】 ノートテイキング、文献読解、論文作成力
2-②	「基礎コンピューター演習」	【知識・理解】 情報学 【思考・判断】 IT倫理・セキュリティ 【技能・表現】 データ処理、文書作成、自己表現、コミュニケーション力
2-③	「体育理論（ウエルネスと身体）」「体育実技」	【知識・理解】 体育理論 【思考・判断】 論理的思考力 【技能・表現】 ノートテイキング、文献読解、体育実技力
2-④	「基礎ゼミナール」	【知識・理解】 基礎的研究法 【思考・判断】 論理的思考力 【技能・表現】 文章読解、日本語文章作成、コミュニケーション、自己表現、発表力

3	<p>【自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます】 【Students can acquire English skills, with special emphasis on expressive skills, and use practical and academic English】</p> <p>英語を実践的かつ学術的に運用するために重要な主題として、(1) 自己形成と他者との共存、(2) 異文化・多文化、(3) 日本における社会問題、(4) 日本の問題と国際問題、にかかわる知識とともに、自己発信力に重点を置いた4技能(読む・書く・聴く・話す)を身につけることができます。</p> <p>Students can acquire knowledge in subject matters essential to using practical and academic English such as (1) personal development and living with others, (2) cross-cultural and multi-cultural issues, (3) social issues in Japan, and (4) Japanese and international issues; in so doing, they acquire four language skills (reading, writing, listening, speaking) with special emphasis on expressive skills.</p>	
	関連科目	主な学修成果獲得の観点
3-①	「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「英語Ⅲ」「英語Ⅳ」	<p>【知識・理解】 他者との共存の諸問題（「英語Ⅰ」） 異文化との遭遇（「英語Ⅱ」） 日本における社会問題（「英語Ⅲ」） 日本と世界との関係（「英語Ⅳ」）</p> <p>【思考・判断】 論理的・批判的思考力</p> <p>【技能・表現】 自己発信力・4技能</p> <p>【協働・共生】 ペア・グループワークでの協働力</p>
3-②	「TOEIC対策講座Ⅰ」「TOEIC対策講座Ⅱ」 英語スキルズ科目 「TOEICスピーキング・ライティング対策」 「TOEIC4技能対策」	<p>【知識・理解】 ビジネス事情</p> <p>【思考・判断】 論理的思考力</p> <p>【技能・表現】 読解・リスニング力</p>
3-③	英語スキルズ科目 「文法・語彙」「ライティング」「リーディング」 「多読速読」「ディスカッション」 「パブリックスピーキング」「学術論文作法」 「メディアの英語」「職場の英語」「旅行の英語」 「生活の英語」「諸学問領域」「社会学」「編入対策」 「TOEICスピーキング・ライティング対策」 「TOEIC4技能対策」 リメディアル科目「英語ファンダメンタルズ」	<p>【知識・理解】 言語、異文化、国際問題、社会問題、 学術的専門分野、ビジネス、キャリア形成</p> <p>【思考・判断】 論理的・批判的思考力</p> <p>【技能・表現】 自己発信力・4技能</p> <p>【協働・共生】 ペア・グループワークでの協働力</p>
3-④	英語で学ぶ教養・基礎・専門科目 「人間学Ⅰ」「人間学Ⅱ」 「異文化間コミュニケーション」 「言語とリテラシー教育」「文化人類学」 「平和と開発」「第二言語習得」「現代美術」 「プレ・ゼミナール」「ゼミナールⅠ」 「ゼミナールⅡ」「インデペンデント・スタディ」 「海外短期語学講座」	<p>【知識・理解】 キリスト教思想・倫理、宗教、異文化、 コミュニケーション、言語、教育、倫理、 平和、国際開発、美術</p> <p>【思考・判断】 課題発見・分析力、論理的・批判的思考力</p> <p>【技能・表現】 ノートテイキング、文献読解、論文作成力</p> <p>【技能・表現（インデペンデント・スタディのみ）】 自律研究、研究発表力</p> <p>【技能・表現（海外短期語学講座のみ）】 自己発信力、言語4技能</p> <p>【協働・共生（海外短期語学講座のみ）】 ペア・グループワークでの協働力</p>

4	<p>【専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます】 【Students can acquire specialized knowledge and abilities to conduct research as autonomous learners】 異文化理解、英米文学研究、言語研究、言語教育、多文化共生、及び国際問題とかかわる分野の知識を獲得し、論理的、批判的思考に基づき、研究する力を身につけることができます。自律した学修者として課題を自ら設定し、それらに挑戦し続けることのできる意欲と技能を持つことができます。</p> <p>Students can acquire knowledge related to such academic areas as cross-cultural understanding, English literature, linguistics, language education, multi-cultural symbiosis, and international issues, and develop abilities to conduct research, backed by sound logical and critical thinking skills. As autonomous learners, they develop abilities to set their own agendas and have strong motivations and skills to pursue those agendas.</p>	
	関連科目	主な学修成果獲得の観点
4-①	基礎科目 「ドイツ語」「スペイン語」「フランス語」 「中国語」「日本語表現法」 「キャリアプランニング」「留学準備」	<p>【知識・理解】 言語、異文化、海外社会事情、キャリア形成 【技能・表現】 言語4技能、日本語作文力、キャリア形成、コミュニケーション、発表力</p>
4-②	専門科目群基礎科目 「言語学概論」「英文学概論」 「キリスト教文化入門」 「異文化間コミュニケーション」 「児童英語教育概説」	<p>【知識・理解】 異文化理解、英米文学、言語研究、言語教育 【思考・判断】 課題発見・分析力、論理的・批判的思考力 【技能・表現】 ノートテイキング、文献読解、論文作成力</p>
4-③	「ブレ・ゼミナール」	<p>【知識・理解】 人文学、社会科学 【思考・判断】 論理的・批判的思考力 【技能・表現】 専門文献読解、研究論文作成、研究発表、討論力育成への準備 【態度・志向性】 自律した研究への準備 【協働・共生】 討論を通じた他者との協働力</p>
4-④	「ゼミナールⅠ」「ゼミナールⅡ」	<p>【知識・理解】 人文学、社会科学 【思考・判断】 課題発見・分析力、論理的・批判的思考力 【技能・表現】 専門文献読解、研究論文作成、研究発表、討論力 【態度・志向性】 研究での自律性 【協働・共生】 討論を通じた他者との協働力</p>
4-⑤	異文化理解関連科目 英米文学関連科目 言語研究関連科目 言語教育関連科目 自律研究科目 「インデペンデント・スタディ」	<p>【知識・理解】 異文化理解、英米文学、言語研究、言語教育 【思考・判断】 課題発見・分析力、論理的・批判的思考力 【技能・表現】 ノートテイキング、文献読解、論文作成力 【技能・表現（インデペンデント・スタディのみ）】 自律研究、研究発表力</p>

5	<p>【地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます】 【Students can develop their awareness as global citizens and engage in activities that aim to bring about multi-cultural symbiosis】 国際的な諸問題、そしてその背後にある文化、歴史、思想を、自らの生とのかかわりにおいて理解し、地球市民としての問題意識をもち、国内外における国際社会が抱える問題の解決、及び多文化共生社会の実現に向けた実践ができます。</p> <p>Students can understand the importance of international issues and how they relate to their own lives, and also understand the cultures, histories, and ideas behind those issues. They develop an awareness of these issues as global citizens and work for the establishment of multi-cultural society.</p>	
	関連科目	主な学修成果獲得の観点
5-①	「バイリンガル教育」 「サービスマニエール（小中学校日本語支援）」 「サービスマニエール（地域日本語支援）」 「サービスマニエール入門講座」 「ブレ・ゼミナール」「ゼミナールⅠ」 「ゼミナールⅡ」	<p>【知識・理解】 キリスト教奉仕の精神、言語教育理論、多文化、ボランティア論 【技能・表現】 言語教育力 【態度・志向性】 地域社会での課題発見および解決力、地球市民としての責任感 【協働・共生】 多文化間の協働・共生力</p>
5-②	「児童英語教育概説」「第二言語習得」 「児童英語指導者養成講座」 「児童英語教育演習」 「サービスマニエール入門講座」 「ブレ・ゼミナール」「ゼミナールⅠ」 「ゼミナールⅡ」	<p>【知識・理解】 キリスト教奉仕の精神、言語教育理論、異文化、ボランティア論 【技能・表現】 言語教育力 【態度・志向性】 地域社会での課題発見および解決力、地球市民としての責任感 【協働・共生】 地域社会の国際化のための協働力</p>
5-③	「三大学合同ペルースタディツアー『往還する南米日系人』」	<p>【知識・理解】 日本・南米史、バイリンガリズム、アイデンティティ形成、教育学 【技能・表現】 英語・スペイン語、討論、発表 【態度・志向性】 グローカルな課題発見および解決力、地球市民としての責任感 【協働・共生】 異なる大学および異なる国民間での協働力</p>

8. 開講科目表

授業回数…◎＝週2回、○＝週1回、●＝週1回・2時限連続を表しています。

DP及び学修成果の項目については、「英語科卒業認定・学位授与の方針と開講科目との関連」(P.53)、及び「英語科卒業認定・学位授与の方針及び学修成果獲得の観点」(P.65～67)を参照してください。

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
英語必修科目										V. 講義内容(シラバス) → P.77～P.195	
ENG101	英語Ⅰ	2			◎		1	平野、近藤、飯田、神谷、T. Gould、C. Oliver、狩野、岩崎、M. Lupas	クラス指定	3	3-①
ENG102	英語Ⅱ	2				◎	1	平野、神谷、T. Gould、Thomas、M. Lupas、R. Burton、G. Freddes、J. Hirai、G. Stewart、M. Trazi Williams	クラス指定	3	3-①
ENG201	英語Ⅲ	2			◎		2	M. Andrade、R. Burton、D. Courtney、G. Freddes、D. Heath、J. Hirai、小金沢、G. Stewart、M. Trazi Williams	クラス指定	3	3-①
ENG202	英語Ⅳ	2				◎	2	岩崎、M. Lupas、R. Burton、D. Heath、小金沢、松岡、M. Nepomuceno、G. Stewart、土屋、M. Trazi Williams	クラス指定	3	3-①
ENG111	TOEIC対策講座Ⅰ	1			○		1	神谷、C. Oliver、岡田、下山	クラス指定	3	3-②
ENG112	TOEIC対策講座Ⅱ	1				○	1	C. Oliver、岩崎、岡田、下山	クラス指定	3	3-②
英語選択必修科目(英語スキルズ)										V. 講義内容(シラバス) → P.196～P.249	
ENG121	基礎英語スキルズ(生活の英語)	2			◎	◎	1・2	M. Nepomuceno	[人]35名	3	3-③
ENG122	基礎英語スキルズ(ライティング)	2			◎	◎	1・2	(春) G. Stewart (秋) M. Lupas	[人]35名	3	3-③
ENG123	基礎英語スキルズ(リーディング)	2			◎	◎	1・2	(春) 松岡 (秋) 石原	[人]各60名	3	3-③
ENG120	基礎英語スキルズ(文法・語彙)	2			◎	◎	1・2	(春) 石原 (秋) 土屋	[人]各60名	3	3-③
ENG150	標準英語スキルズ(職場の英語)	2			◎		1・2	D. Courtney	[人]35名	3	3-③
ENG155	標準英語スキルズ(旅行の英語)	2				◎	1・2	小金沢	[人]35名	3	3-③
ENG160	標準英語スキルズ(メディアの英語)	2				◎	1・2	J. Hirai	[人]60名	3	3-③
ENG152	標準英語スキルズ(文法・語彙)	2			◎	◎	1・2	(春) 石原 (秋) 松岡	[人]各60名	3	3-③
ENG153	標準英語スキルズ(ライティング)	2			◎	◎	1・2	(春) 小金沢 (秋) G. Stewart	[人]各35名	3	3-③
ENG151	標準英語スキルズ(リーディング)	2			◎	◎	1・2	(春) 松岡 (秋) 石原	[人]各60名	3	3-③
ENG159	標準英語スキルズ(パブリックスピーキング)	2			◎		1・2	M. Trazi Williams	[人]35名	3	3-③
ENG158	標準英語スキルズ(ディスカッション)	2			◎		1・2	M. Nepomuceno	[人]35名	3	3-③

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選択	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
ENG161	標準英語スキルズ(編入対策)		2		◎		1・2	永野	[人]35名	3	3-③
ENG180	準上級英語アカデミックスキルズ(諸学問領域)		2		◎		1・2	T. Gould	[人]35名	3	3-③
ENG181	準上級英語アカデミックスキルズ(社会学)		2			◎	1・2	C. Oliver	[人]35名	3	3-③
ENG182	準上級英語スキルズ(TOEICスピーキング・ライティング対策)		2		◎		1・2	M. Andrade	[人]35名	3	3-②, 3-③
ENG221	上級英語スキルズ(ディベート)		2				1・2	2019年度休講		3	3-③
ENG223	上級英語スキルズ(学術論文作法)		2		◎		1・2	G. Freddes	[人]35名	3	3-③
ENG224	上級英語スキルズ(多読速読)		2		◎		1・2	M. Lupas	[人]60名	3	3-③
ENG225	上級英語スキルズ(編入対策)		2		◎		1・2	平野	[人]35名	3	3-③
ENG226	上級英語スキルズ(TOEICスピーキング・ライティング対策)		2		◎		1・2	M. Andrade	[人]35名	3	3-②, 3-③
ENG227	上級英語スキルズ(TOEIC 4技能対策)		2		◎		2	R. Burton	[人]35名	3	3-②, 3-③
英語選択科目										V. 講義内容(シラバス) → P. 250 ~ P. 251	
ENG000	英語ファンダメンタルズ			0	○		1	狩野	履修対象者はP. 60 (7) を参照	3	3-③
教養必修科目										V. 講義内容(シラバス) → P. 252 ~ P. 267	
SCH100	人間学 I	2			○		1	丹木、小林(宏)、寒野、W. Nampet、島村	・クラス指定 ・P. 60 (8) の履修上の注意参照	1, 2, 3	1-①, 2-①, 3-④
教養選択科目										V. 講義内容(シラバス) → P. 268 ~ P. 315	
SCH101	人間学 II		2		○		1・2	小林(宏)、W. Nampet	・P. 60 (8) の履修上の注意参照	1, 2, 3	1-①, 2-①, 3-④
HST200	歴史学		4	◎			1・2	森下		2	2-①
PHL200	哲学		4	◎	◎		1・2	(春) 丹木 (秋) 上田		1, 2	1-①, 2-①
PHL202	女性と哲学		4	◎			1・2	上田		1, 2	1-①, 2-①
REL200	宗教学		4	◎	◎		1・2	小林(宏)		1, 2	1-①, 2-①
MUS200	音楽		4	◎			1・2	北村		2	2-①
SOC200	社会学		4	◎	◎		1・2	田村		2	2-①
LAW210	日本国憲法		4	◎			1・2	玉巻		2	2-①
LAW200	法学		4	◎			1・2	廣見		2	2-①
EDU200	教育学		4	◎	◎		1・2	(春) 杉村 (秋) 小林(尚)		2	2-①
ECN200	経済学		4	◎			1・2	白瀬		2	2-①
BUS200	経営学		4	◎			1・2	白瀬		2	2-①
SWF200	社会福祉入門		4	◎			1・2	栃本・寺田		2	2-①

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
JRN201	マスメディア論			4	◎	◎	1・2	アルン・デソーザ		2	2-①
COM101	基礎コンピューター演習			2	○	○	1・2	(春) 森本 (秋) 津垣	[人]各36名	2	2-②
MTH200	数学			4		◎	1・2	津垣		2	2-①
PSY200	心理学			4	◎		1・2	奥村		2	2-①
PED100	体育理論 (ウエルネスと身体)			2	○	○	1・2	中澤		2	2-③
PED110	体育(球技1)			1	○	○	1・2	中澤	[人]各36名	2	2-③
PED111	体育(球技2)			1	○	○	1・2	中澤	[人]各36名	2	2-③
基礎選択科目：異文化理解領域 (18年次生以前は異文化理解コース)								各領域(コース)の基礎科目は1年次履修が望ましい V. 講義内容(シラバス) → P. 316 ~ P. 319			
REL210	キリスト教文化入門			4		◎	1・2	小林(宏)(輪講)		1, 4	1-①, 4-②
IDS210	異文化間 コミュニケーション			4	◎		1・2	C. Oliver	言語研究コースにも 算入可	3, 4	3-④, 4-②
基礎選択科目：英米文学研究領域 (18年次生以前は英米文学研究コース)								各領域(コース)の基礎科目は1年次履修が望ましい V. 講義内容(シラバス) → P. 320 ~ P. 323			
LIT201	英文学概論			4	◎	◎	1・2	(春) 飯田 (秋) 平野		4	4-②
基礎選択科目：言語研究領域 (18年次生以前は言語研究コース)								各領域(コース)の基礎科目は1年次履修が望ましい V. 講義内容(シラバス) → P. 324 ~ P. 327			
LNG200	言語学概論			4	◎	◎	1・2	(春) 近藤 (秋) 神谷		4	4-②
基礎選択科目：言語教育領域 (18年次生以前は言語教育コース)								各領域(コース)の基礎科目は1年次履修が望ましい V. 講義内容(シラバス) → P. 328 ~ P. 329			
EDU205	児童英語教育概説			4	◎		1・2	仲沢		4, 5	4-②, 5-②
基礎選択科目								V. 講義内容(シラバス) → P. 330 ~ P. 353			
GMN101	ドイツ語 I			2	◎	◎	1・2	工藤	[人]各35名	4	4-①
GMN102	ドイツ語 II			2	◎		1・2	工藤	[人]35名、ドイツ 語 I 既修者か、そ れに相当する者	4	4-①
FRN101	フランス語 I			2	◎	◎	1・2	塩谷	[人]各35名	4	4-①
FRN102	フランス語 II			2	◎		1・2	塩谷	[人]35名、フラン ス語 I 既修者か、 それに相当する者	4	4-①
SPN101	スペイン語 I			2	◎	◎	1・2	新津	[人]各35名	4	4-①
SPN102	スペイン語 II			2	◎		1・2	新津	[人]35名、スペイ ン語 I 既修者か、 それに相当する者	4	4-①
CHN101	中国語 I			2	◎	◎	1・2	廣重	[人]各35名	4	4-①
CHN102	中国語 II			2	◎		1・2	廣重	[人]35名、中国語 I 既修者か、そ れに相当する者	4	4-①
JPN250	日本語表現法			4	◎	◎	1・2	河北	[人]各35名	4	4-①
SEF200	キャリアプランニング			2		○	1・2	森下(輪講)	同窓会寄附講座	4	4-①
ENG250	留学準備 (イギリス)			1	○		1・2	岩崎	夏期短期語学講座 申込者のみ	4	4-①

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
ENG251	留学準備 (オーストラリア)			1		○	1・2	宮崎	春期短期語学講座 申込者のみ	4	4-①
専門必修科目											
V. 講義内容(シラバス) → P. 354 ~ P. 427											
SES100	基礎ゼミナール	2				○	1	平野、丹木、森下、 飯田、杉村、 小林(宏)、岩崎		2	2-④
SES150	プレ・ゼミナール (永野)	2				○	1	永野	原則として2年次に履修するゼミナールI・II担当教員と同一であること。但し、教員のサバティカルにより同一教員が履修できない場合がある。詳細は6月のゼミナール説明会で説明。	4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール (平野)	2				○	1	平野		4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール (近藤)	2				○	1	近藤		4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール (丹木)	2					1	2019年度休講		4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール (森下)	2				○	1	森下		4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール (宮崎)	2				○	1	宮崎		4, 5	4-③, 5-①
SES150	プレ・ゼミナール (飯田)	2				○	1	飯田		4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール (神谷)	2				○	1	神谷		4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール (Gould)	2					1	2019年度休講		3, 4	3-④, 4-③
SES150	プレ・ゼミナール (Oliver)	2					1	2019年度休講		3, 4	3-④, 4-③
SES150	プレ・ゼミナール (杉村)	2				○	1	杉村		4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール (狩野)	2				○	1	狩野		4, 5	4-③, 5-②
SES150	プレ・ゼミナール (小林(宏))	2				○	1	小林(宏)		4	4-③
SES150	プレ・ゼミナール (Thomas)	2				○	1	Thomas		3, 4	3-④, 4-③
SES150	プレ・ゼミナール (岩崎)	2				○	1	岩崎		4	4-③
SES200	ゼミナール I (永野)	2				○	2	永野		原則として、ゼミナールIとゼミナールIIは同一教員の担当科目を履修。	4
SES200	ゼミナール I (平野)	2				○	2	平野	4		4-④
SES200	ゼミナール I (近藤)	2				○	2	近藤	4		4-④
SES200	ゼミナール I (丹木)	2				○	2	丹木	4		4-④
SES200	ゼミナール I (森下)	2				○	2	森下	4		4-④
SES200	ゼミナール I (宮崎)	2					2	2019年度休講	4, 5		4-④, 5-①
SES200	ゼミナール I (飯田)	2				○	2	飯田	4		4-④
SES200	ゼミナール I (神谷)	2				○	2	神谷	4		4-④
SES200	ゼミナール I (Gould)	2				○	2	T. Gould	3, 4		3-④, 4-④
SES200	ゼミナール I (Oliver)	2				○	2	C. Oliver	3, 4		3-④, 4-④
SES200	ゼミナール I (杉村)	2				○	2	杉村	4		4-④

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
SES200	ゼミナールⅠ (狩野)	2			○		2	狩野	原則として、ゼミナールⅠとゼミナールⅡは同一教員の担当科目を履修。	4, 5	4-④, 5-②
SES200	ゼミナールⅠ (小林(宏))	2					2	2019年度休講		4	4-④
SES200	ゼミナールⅠ (Thomas)	2					2	2019年度休講		3, 4	3-④, 4-④
SES200	ゼミナールⅠ (岩崎)	2			○		2	岩崎		4	4-④
SES200	ゼミナールⅠ (Lupas)	2					2	2019年度休講		3, 4	3-④, 4-④
SES300	ゼミナールⅡ (永野)	2			○		2	永野		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ (平野)	2			○		2	平野		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ (近藤)	2			○		2	近藤		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ (丹木)	2			○		2	Thomas		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ (森下)	2			○		2	森下		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ (宮崎)	2					2	2019年度休講		4, 5	4-④, 5-①
SES300	ゼミナールⅡ (飯田)	2			○		2	飯田		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ (神谷)	2			○		2	神谷		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ (Gould)	2			○		2	T. Gould		3, 4	3-④, 4-④
SES300	ゼミナールⅡ (Oliver)	2			○		2	C. Oliver		3, 4	3-④, 4-④
SES300	ゼミナールⅡ (杉村)	2			○		2	杉村		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ (狩野)	2			○		2	狩野		4, 5	4-④, 5-②
SES300	ゼミナールⅡ (小林(宏))	2					2	2019年度休講		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ (Thomas)	2					2	2019年度休講		3, 4	3-④, 4-④
SES300	ゼミナールⅡ (岩崎)	2			○		2	岩崎		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ (Lupas)	2					2	2019年度休講	3, 4	3-④, 4-④	
専門選択科目：異文化理解領域 (18年次生以前は異文化理解コース)										V. 講義内容 (シラバス) → P. 428 ~ P. 447	
HST310	東洋研究			4	◎		1・2	玉置		4	4-⑤
HST302	西洋研究			4			1・2	2019年度休講	隔年開講	4	4-⑤
JPN311	日本文化			4			1・2	2019年度休講	隔年開講	4	4-⑤
HST301	英米史			4	◎		1・2	森下	隔年開講	4	4-⑤
HST300	比較社会史			4	◎		1・2	森下	隔年開講	4	4-⑤
INT301	国際関係論			4	◎		1・2	辛		4	4-⑤
ANT200	文化人類学			4	◎		1・2	C. Oliver		3, 4	3-④, 4-⑤
ART200	現代美術			4	◎		1・2	G. Fredes		3, 4	3-④, 4-⑤

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
EDU302	比較・国際教育学			4	◎		1・2	杉村	(言語教育コースにも算入可)	4	4-⑤
EDU321	社会正義のグローバルリテラシー			4			1・2	2019年度休講	隔年開講 注1	3, 4	3-④, 4-⑤
EDU320	言語とリテラシー教育			4	◎		1・2	M. Andrade	(隔年開講 注1 言語研究コースにも算入可)	3, 4	3-④, 4-⑤
PHL210	倫理学			4	◎		1・2	丹木		1, 4	1-①, 4-⑤
SOC301	平和と開発			4	◎		1・2	Thomas		3, 4	3-④, 4-⑤
専門選択科目：英米文学研究領域 (18年次生以前は英米文学研究コース) V. 講義内容 (シラバス) → P. 448 ~ P. 455											
LIT323	イギリスの文化と文学			4	◎		1・2	山本		4	4-⑤
LIT310	英詩研究			4	◎		1・2	飯田	隔年開講	4	4-⑤
LIT320	演劇研究			4			1・2	2019年度休講	隔年開講	4	4-⑤
LIT321	小説研究			4			1・2	2019年度休講	隔年開講	4	4-⑤
LIT322	映画と文学			4	◎		1・2	飯田		4	4-⑤
LIT324	キリスト教と文学			4			1・2	2019年度休講		4	4-⑤
ENG350	翻訳演習			4	◎		1・2	永野	隔年開講	4	4-⑤
専門選択科目：言語研究領域 (18年次生以前は言語研究コース) V. 講義内容 (シラバス) → P. 456 ~ P. 463											
LNG310	社会言語学			4	◎		1・2	神谷		4	4-⑤
LNG305	音声学			4	◎		1・2	吉田	(言語教育コースにも算入可)	4	4-⑤
LNG330	日本語学			4			1・2	2019年度休講	(言語教育コースにも算入可)	4	4-⑤
LNG302	語用論			4	◎		1・2	近藤		4	4-⑤
ENG360	英語史			4	◎		1・2	山本	(英米文学研究コースにも算入可)	4	4-⑤
専門選択科目：言語教育領域 (18年次生以前は言語教育コース) V. 講義内容 (シラバス) → P. 464 ~ P. 485											
LNG320	バイリンガル教育			2	○		1・2	宮崎	(言語研究コースにも算入可)	4, 5	4-⑤, 5-①
JPN301	日本語教授法			4			1・2	2019年度休講		4, 5	4-⑤, 5-①
EDU310	初等教育			4	◎		1・2	杉村		4	4-⑤
PSY301	発達心理学			4	◎		1・2	奥村		4	4-⑤
LNG325	第二言語習得			4	◎		1・2	T. Gould	(言語研究コースにも算入可)	3, 4, 5	3-④, 4-⑤, 5-②
EDU300	児童英語教育演習A			4	●		2	狩野	児童英語教育概説、児童英語指導者養成講座、第二言語習得のいずれかの単位を修得済であることが履修の条件	4, 5	4-⑤, 5-②
EDU301	児童英語教育演習B			4	●		1・2	狩野		4, 5	4-⑤, 5-②

注1 専門科目4単位として算入する方法と英語選択必修科目4単位として算入する方法があります P. 43参照

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
EDU206	児童英語指導者養成講座			4		◎	1・2	杉村		4, 5	4-⑤, 5-②
SLE201	サービスラーニング入門講座			1	○	○	1・2	(春) 岩崎 (秋) 宮崎	・P.61 (12) の履修上の注意参照	5	5-①, 5-②
SLE301	サービスラーニング(小中学校日本語支援A)			3			1・2	2019年度休講	・P.61 (12) の履修上の注意参照	5	5-①
SLE302	サービスラーニング(小中学校日本語支援B)			3		◎	1・2	宮崎	・P.61 (12) の履修上の注意参照	5	5-①
SLE303	サービスラーニング(地域日本語支援A)			3	◎		1・2	河北	・P.61 (12) の履修上の注意参照	5	5-①
SLE304	サービスラーニング(地域日本語支援B)			3		◎	1・2	河北	・P.61 (12) の履修上の注意参照	5	5-①
専門選択科目 (その他)											
SES399	インデペンデント・スタディ			2			1・2	担当教員	詳細はP. 61参照	3, 4	3-④, 4-⑤
ENG260	海外短期語学講座			2			1・2	短期留学制度	詳細はP. 42参照	3	3-④
GCR200	3大学合同ペルースタディツアー「往還する南米日系人」			2			1・2	未定	詳細はP. 62参照	5	5-③